

見て聞いて学ぶ紫式部の日

紫式部と南越前町

参加
無料

開催日 2024年9月29日(日)

会場 今庄住民センター(南越前町今庄 84-25)

【第1部】紫式部ゆかりの地巡りバスツアー

時間:午前8時45分~10時45分(受付午前8時30分~)
場所:今庄住民センター駐車場発着
内容:「ふくい歴女の会」会長で、コミック版日本の歴史「紫式部」の原作者である後藤ひろみ氏と、南越前町の紫式部ゆかりの地をバスで巡ります。
定員:40名(要申込み)



【第2部】後藤ひろみ氏 講演会

演題:「紫式部と南越前町 その人生とつながりをたどる」
時間:午前11時~12時
場所:今庄住民センター 大ホール
定員:150名(要申込み)

【プロフィール】

2010年に「ふくい歴女の会」を結成。2014年には福井県立歴史博物館内に「ときめぐる、カフェ。」をオープン。コミック版日本の歴史「紫式部」等の原作を担当し、多くのシンポジウム等にパネリストとして出演。昨年8月に県内の歴史を新たな観光資源として発信する「県歴史コーディネーター」に就任。



福井県提供

【第3部】講談師 四代目玉田玉秀齋 講談会

演題:「紫式部が見た越前」
時間:午後1時30分~3時
場所:今庄住民センター 大ホール
定員:150名(要申込み)

【プロフィール】

幕末、京都を拠点に活躍した神道講釈師・玉田永教の流れを汲む玉田家の四代目。玉田家は『猿飛佐助』『霧隠才蔵』『真田十勇士』『菅原天神記』『安倍晴明伝』などを世に広めた一門。当代・玉秀齋はロータリー交換留学生としてスウェーデンに留学中、逆に日本に興味を持ち、2001年、四代目・旭堂南陵へ入門。2016年、四代目・玉秀齋を襲名。現在、三重大学大学院にて忍者を研究中。



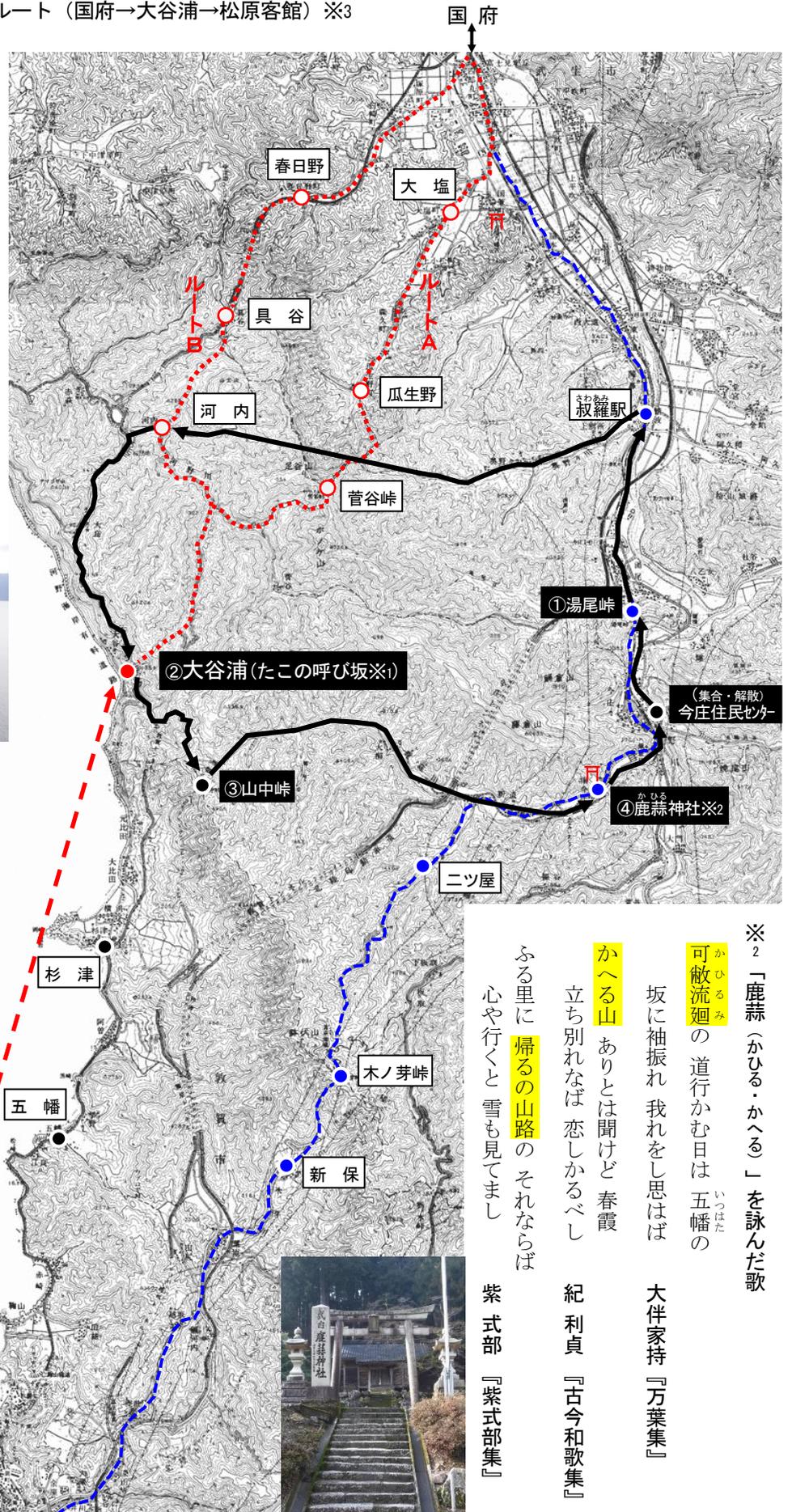
申込方法 南越前町教育委員会へ電話にてお申込みください。 TEL:0778-47-8005

申込締切 令和6年9月13日(金) 各部とも定員に達し次第締め切りとさせていただきます

→ **紫式部ゆかりの地巡りバスツアー予定地** 今庄住民センター ⇒ ①湯尾峠 ⇒ ②たこの呼び坂 ⇒ ③山中峠 ⇒ ④鹿蒜神社

--- 長徳2(996)年 越前国司の下向ルート(木ノ芽峠越えの北陸道)

--- 国府から敦賀までの推定ルート(国府→大谷浦→松原客館) ※3



※1史跡「たこの呼び坂」(南越前町指定文化財)

紫式部は、長徳二(九九六)年、越前国司となつて赴任した父の藤原為時とともに国府(越前市)で一年を過ごした。滞在中に大谷浦から敦賀(松原客館)に渡つたといわれ、『紫式部集』には大谷浦の地名(たこ坂、たこ谷)が登場する次の歌が掲載されている。

ましもなほ 遠方人に 声かはせ

おちかたひと

われ越しわぶる たこの呼坂

よひさか



「たこの呼び坂」から敦賀方面を望む

※2「鹿蒜(かひる・かへる)」を詠んだ歌
可敷流廻(かひるみ)の道行かむ日は 五幡(いつはた)の
坂に袖振れ 我れをし思はば

かへる山 ありとは聞けど 春霞
立ち別れなば 恋しかるべし
ふる里に 帰るの山路の それならば
心や行くと 雪も見てまし

大伴家持『万葉集』

紀利貞『古今和歌集』

紫式部『紫式部集』



鹿蒜神社